



橋本市の木
もくせい



橋本市の木
さくら



橋本市の花
さつき



橋本市制20周年 記念式典

市制20周年を迎えて



橋本市長 平木 哲朗

旧市町の合併により誕生した橋本市が市制20周年を迎えました。これまで市民の皆さまとともに歩み育んできたわがまち橋本市の節目を、市民の皆さまとともにお祝いできますことを心からうれしく思います。そして、市政の発展にご尽力いただいております多くの皆さまに深く感謝を申し上げます。

橋本市では、『歴史をふりかえる 今をもっと好きになる そして、未来にワクワクする』をコンセプトに、20周年記念事業を進めています。

これまで受け継がれてきた歴史を振り返りますと、橋本市の礎を築いてくれた先人たちに改めて感謝と尊敬の念を抱き、そして、今日の橋本市の姿に幸せを実感します。

この幸せを未来に生きる子どもたちにつないでいけるよう、時代に合った取り組みを進めていかなければなりません。

目まぐるしく変化する社会情勢の中で、新たな価値を創造するため、市民の皆さまと協働して、次のステージに向かって明るく力強く前進し続けていきたいと考えています。

市民の誰もが自分らしくいきいきと暮らし、笑顔輝く元気なまち橋本市を目指して取り組んでまいりますので、今後とも市政への一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

平成18年3月1日に橋本市が誕生してから、20年の節目を迎えることとなりました。

今日まで、本市の発展にご尽力賜りました市民の皆さま、また関係者の皆さまの温かなご支援とご協力に心から敬意と感謝を申し上げます。

本年は、これまでこの地に引き継がれてきた地域の伝統や文化、魅力などを活かし、これからの新たな橋本市へと繋いでいく架け橋の年となります。

私たち市議会も、未来への決意を新たにするとともに、これまで培ってきた絆をさらに広げ、「未来へもっと 橋もっと」となるよう、議員一同全力で取り組んでまいります。

今後も、橋本市が市民の笑顔で光輝く豊かなまちとなるよう、皆さまと歩みを共にしてまいりますので、より一層のご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。



橋本市議会議長 田中 博晃

記念式典次第

プロローグ 橋本高校邦楽部 演奏
橋本高校書道部 書道パフォーマンス

- 第一部
- 1 開式宣言
 - 2 国歌独唱
 - 3 市歌斉唱
 - 4 市民憲章朗読
 - 5 市長式辞
 - 6 市議会議長挨拶
 - 7 来賓祝辞
 - 8 来賓紹介
 - 9 祝電披露
 - 10 記念映像「橋本市20年の歩み」
 - 11 橋本市出身音楽家たちによる演奏

- 第二部
- 1 ザ★太郎さんズ「20周年ブギ」
 - 2 市民インタビューリレー映像「笑顔でつながるまち」
 - 3 嵯峨谷の神踊り保存会「嵯峨谷の神踊り」
 - 4 少林寺拳法連盟橋本西支部「少林寺拳法」
 - 5 NPO法人紀の国やっちゃん振興会
「紀の国やっちゃん20周年バージョン」
 - 6 閉式宣言

橋本市歌

安西冬衛 作詞
野口源次郎 作曲

カブよく（♩＝約108）



一、まゆずみ 紀の山

のり 法あらたなりわが市
じりつ 自立のすがたわれら挙り

きお つとに勢う生産立市
はしもと 橋本、橋本、かがやかし大橋本
せい 世紀の朝われら颯爽

二、あさもよし紀の川

あゆ 鮎きららなりわが市
ふえき 不易のながれわれら掬び

てんよ ここにひらく天与の資源
はしもと 橋本、橋本、みずみずし大橋本
むきゆう 無窮の生命われら涇刺

三、かりしき 苅敷の竹の葉

かぜ 風きよらなりわが市
ぶんか 文化のひかりわれら讃え
はしもと 橋本、橋本、わかわかし大橋本
きぼう 希望の未来われら洋々

橋本市民憲章

紀の川の清き流れと、豊かな自然にはぐくまれ、
遠い万葉の昔から高い文化をきずいてきた橋本市。
わたしたち橋本市民は、先人の努力を受けつぎ、
自由と平和を愛し、未来にはばたくふるさとづくりをめざし、
この市民憲章を定めます。

- めぐまれた自然を生かし 環境をととのえ
水と緑の住みよいまちをつくります
- 伝統を守り 教養を深め
文化の薫りたかいまちをつくります
- 人権を尊び 人の和を大切に
夢とやすらぎのあるあたたかいまちをつくります
- スポーツに親しみ 心身をきたえ
健康で明るいまちをつくります
- 勤労をよろこび 技術をみがき
豊かな産業のまちをつくります

橋本市制20年のあゆみ

平成18年（2006年）

- 3月 橋本市と高野口町の合併
- 4月 国道371号「橋本高野橋」 開通
京奈和自動車道橋本道路 高野口～橋本インター間 供用開始
- 10月 新「橋本市」誕生記念式典 開催
- 11月 まっせ・はしもと 開催（第1回）



平成19年（2007年）

- 8月 京奈和自動車道橋本道路 橋本～橋本東インター間 供用開始
- 12月 「企業立地に頑張る市町村20選」に選定、経済産業大臣表彰 受賞

平成20年（2008年）

- 4月 高野口地区公民館 開館

平成21年（2009年）

- 3月 高野口・大野・向島・信太の4保育園、高野口幼稚園 閉園
- 3月 デジタル防災行政無線システム（60MHz帯） 本格運用開始
高野口こども園 開園
- 8月 橋本周辺広域ごみ処理場 稼動
- 11月 すこやか橋本 まなびの日 開催（第1回）

平成23年（2011年）

- 1月 小学生医療費助成制度 開始
- 3月 橋本駅・林間田園都市駅バリアフリー化・エレベーター等 設置
- 4月 橋本市エコパーク「紀望の里」 オープン
- 10月 橋本北消防署 開署



平成24年（2012年）

- 3月 やどり温泉いやしの湯 オープン
山内・恋野・隅田の3幼稚園、すみだ保育園 閉園
- 4月 すみだこども園 開園
中学校全校給食 開始
- 9月 ロンドン2012パラリンピック競技大会 水泳競技 中村智太郎選手 銀メダル 受賞
- 10月 ごみの福祉収集 開始



平成25年（2013年）

- 1月 保健福祉センター 開庁
- 3月 紀州へら竿 国の伝統的工芸品に指定
- 4月 あやの台小学校 開校
橋本小学校 新築移転
三石保育園 新築移転
- 8月 紀の川橋本SUMMERBALL2013 開催（第1回）



平成26年（2014年）

- 1月 高野口小学校（旧高野口尋常高等小学校校舎）が国の重要文化財に指定
橋本市マスコットキャラクター「はしばう」に決定
- 3月 名古屋児童公園（きのこ公園） リニューアルオープン
- 4月 橋本市コミュニティバス北ルート 運行開始



平成27年（2015年）

- 3月 橋本東・橋本・伏原・名古屋の4保育園、橋本・応其の2幼稚園 閉園
- 4月 中学生医療費助成制度 開始
応其こども園 開園
橋本こども園 開園
橋本市地場産業振興センター リニューアルオープン
- 9月 国道371号（橋本バイパス）全線4車線 供用開始（平成26年6月 一部暫定2車線で供用開始）
2015紀の国わかやま国体 開催
サッカー（成年男子）、バレーボール（成年男子・少年男子・成年女子）、ソフトボール（少年女子）の3競技
- 10月 高野参詣道黒河道が国の史跡に指定



平成28年（2016年）

- 1月 橋本市制10周年記念式典
- 3月 あやの台北部用地（第1次事業）工業団地開発事業 取組開始
西部中学校・橋本中学校・学文路中学校 閉校
- 4月 橋本中央中学校 開校
山田地区公民館 新築移転
橋本・伊都地域消防指令センター 開所
- 10月 高野参詣道黒河道が「紀伊山地の霊場と参詣道」に追加登録

平成29年（2017年）

- 9月 こども食堂 スタート
- 10月 台風第21号による浸水被害

平成30年（2018年）

- 4月 第2次橋本市長期総合計画 スタート
- 9月 学校給食センター オープン



平成31年（2019年）

- 3月 信太小学校 閉校
清水・学文路の2幼稚園、しみず保育園 閉園
- 4月 橋本市の自治と協働をはぐくむ条例 施行
学文路さつきこども園 開園

令和 元年（2019年）

- 9月 学文路地区公民館 新築移転
大河ドラマ「いだてん」で前畑秀子さんの活躍が描かれる
- 11月 ねりんピック紀の国わかやま2019 開催（ゴルフ交流大会、ソフトバレーボール交流大会）
Asia Herabuna Summit 開催

令和 2 年（2020年）

- 3月 柏原保育園 閉園
恋野橋 架け替え
- 6月 葛城修験一里人ともに守り伝える修験道はじまりの道 日本遺産に登録
- 12月 大畑才蔵翁没後300年記念フォーラム 開催

令和 3 年（2021年）

- 3月 岸上・山田の2保育園 閉園
- 4月 たんぼぼ園 新築移転
山田さつきこども園 開園
- 10月 紀の国わかやま総文2021 開催
- 11月 杉村やすらぎ広場がオープン



令和 4 年（2022年）

- 3月 紀の川左岸広域農道（紀の川フルーツライン） 全線完成
- 4月 公共施設のネーミングライツ 開始
- 10月 子ども医療費助成の年齢引き上げ（18歳年度末まで対象）

令和 5 年（2023年）

- 3月 柱本幼稚園 閉園
- 4月 第2次橋本市長期総合計画 後期基本計画スタート
- 10月 橋本市デジタル地域通貨「Hashi-Mo」 事業開始
- 12月 老人福祉施設「国城寮」 九度山町に新築移転



令和 6 年（2024年）

- 4月 岡潔数学体験館 オープン
- 6月 紀見地区公民館 新築移転
国道371号石仏バイパス・天見紀見トンネル 開通
- 9月 みんなあつまれ！橋っ子祭り 開催（第1回）
- 10月 改正空家法に基づく制度の積極的活用により国土交通大臣表彰受賞
防災行政無線システム（280MHz帯） ※戸別受信機本格運用 開始
学校給食費の無償化 実施
乳幼児・子ども医療費助成の所得制限撤廃

令和 7 年（2025年）

- 3月 あやの台北部用地（第1次事業）工業団地 完成
紀見、境原の2幼稚園、紀見保育園 閉園
- 4月 紀見こども園 開園
教育支援センター オープン
郷土資料館 新築移転
2025年大阪・関西万博 開催 本市の伝統工芸や地場産品をPR

祝!!市制20周年!!





橋本市制20周年記念式典では、橋本市出身の方や在学している方など、橋本市にゆかりのある皆さんに多方面からご協力いただき、文化・芸術の薫り高い式典としています。出演や制作にかかわっていただいたアーティストを紹介します。（敬称略）



Photo by Minako Wakata

冷水 乃栄流（ひやみず のえる）

作曲家。式典では音楽家が演奏する楽曲のアレンジを担当し、自身の作品である「あい」を提供。箏合奏曲「脆性ノスタルジア」や「桜フラグメンツ」などは人気のある作品で、コンクールや演奏会でたびたび取り上げられている。2026年度から名古屋フィルハーモニーコンポーザー・イン・レジデントに就任予定。



森本 英希（もりもと ひでき）

フルート奏者。大阪シンフォニカー（現大阪交響楽団）フルート奏者を経て、現在テレマン室内オーケストラ首席フルート奏者。フルートやリコーダー、篠笛など様々な笛を持ち替えることのできる稀有な奏者であり、30種以上の様々な笛を使用し、個性あふれる演奏会やワークショップを日本各地で行っている。



辻本 好美（つじもと よしみ）

尺八奏者。現在は世界各国で演奏活動を行い、邦楽の枠にとらわれることなく古典音楽からポップスまで幅広いジャンルを演奏、中でもマイケル・ジャクソンの「Smooth Criminal」を箏奏者とともにカバーし、インターネット上で世界的に話題になった。郷土への愛着が深く、地域に根差した活動にも積極的に取り組んでいる。



大家 一将（おおや かずまさ）

打楽器奏者。現在はプロの打楽器奏者として多くのメジャーアーティストの作品やLIVEに参加のほか、映画・TV・CM・ラジオ・アニメ・ゲーム等の演奏を担当するなど精力的に活動している。和歌山県名産「炭琴」を用いてソロ・パフォーマンスを行うなど、音楽を通して和歌山の魅力発信を行っている。



中山 直音（なかやま ただなり）

ティンパニ奏者。現在は、関西フィルハーモニー管弦楽団首席ティンパニ奏者。ソリストとしても活躍しており、ティンパニがメロディーを演奏するという革新的な取り組みも行っている。橋本市をはじめ各地においてリサイタルを開くなど、音階のあるティンパニの魅力を演奏を通じて伝えている。



赤星 南三子（あかほし なみこ）

ピアノ奏者。関西を拠点にソロや室内楽を中心とした演奏活動を展開、並行して複数の音楽教室で後進を指導している。また、小・中学校や幼稚園・保育園での授業やアウトリーチにも携わり、演奏と教育の両面から幅広い世代へ音楽を発信している。



有馬 陽子（ありま ようこ）

チェロ奏者。高等学校在学中に「きのくに音楽祭2022」ウェルカムコンサートに弦楽アンサンブルのメンバーとして出演、また去年は第35回全国「緑の愛護」のつどいで演奏した。若手の音楽家として積極的に活動しており、今後の活躍が期待される。



鈴木 彩華（すずき あやか）

メゾ・ソプラノ歌手。現在は、（特非）関西芸術振興会・関西歌劇団正団員として多数のオペラやコンサートに出演し、夫人役から男性役まで幅広い役柄を演じている。その他にも各地の学校など教育現場でのオペラ公演にも出演中である。また地元では、母校の式典で在校生と共演し来場者を魅了した。



ウインズ平阪（ういんず ひらさか）

シンガーソングライター。Joshin（ジョーシン）、吉野家、産直市場よってって、など50社以上のCMソングや、「紀の国わかやま国体&大会」「ねんりんピック」など多数のテーマソングに加え、橋本中央中学校の校歌も手がけている。またラジオやテレビ計4本のレギュラー番組に出演し、朝日新聞にエッセーも連載中！

三田 象山（みた しょうざん）

書道家・篆刻家。記念式典の横断幕、看板を揮毫。地元の小学校で児童への書道指導に長年関わっており、卒業記念の大作制作など手がける。数々の篆刻も手がけ、各地で展覧会を開催している。

坂井 優斗（さかい ゆうと）

学生。記念式典のパンフレット表紙のイラストを制作。「何度も試行錯誤を重ねて描き上げました。ジャンプする男の子の周りを巡るビデオテープには、これからの未来に橋本市の皆さんが新しい思い出を紡いでいてほしい、という願いを込めています。」というメッセージをいただいています。

鶴谷 咲良（つるたに さら）

学生。記念式典のパンフレット表紙の題字を制作。「書道パフォーマンスという私の夢の一つをかなえる機会もいただきありがとうございました。みんなで意見を出し合いながら練習した日々は、すごく大切な思い出になりました。感謝の気持ちでいっぱいです。」というメッセージをいただいています。